

第2章 平成23年度(2011年度)の実施状況

1. 子どもと本をつなぐ地域交流会

パート1 平成23年(2011年)10月21日(金) 午後12時～1時(その後自由交流)
岡町図書館 集会室にて

▶ 参加者 21人

▶ 内容 「子どもと本をつなぐボランティア講座」(全6回)の最終回にあわせてあわせて開催。

ボランティア講座終了後の活動の参考にしてもらえるよう、地域の読み聞かせボランティアグループ、子ども文庫の活動について情報提供し、交流を深めた。



パート2 平成23年(2011年)12月1日(金) 午前10時～12時30分

岡町図書館 集会室にて

- 参加者 45人
- 内容 保健師、市立図書館司書、児童発達支援センター保育士、学校司書、行政職員より子どもと本に関わるそれぞれの事業・活動についての報告。グループごとに現在行っている取り組みについての情報交換と今後行いたい取り組みのアイデアを出し合うワークショップを実施。図書館職員より新しく出版された子どもの本の紹介も実施。



活動の様子を
写真を交えて報告



グループごとに
ワークショップ



ワークショップ
の内容を発表



グループの活動を
紹介するパネル展示
も行いました



図書館からは
新しく出版された
子どもの本の紹介が
ありました

	パート1		パート2	
日時	平成23年（2011年）10月21日		平成23年（2011年）12月1日	
事前アンケート調査・訪問先	/		高校生・大学生ボランティア、児童発達支援センター保護者・保育士、子ども文庫	
参加者のおもな構成	読み聞かせボランティア講座参加者15、ファシリテーターとして読み聞かせボランティア6など		ボランティアグループ13、小学校での読み聞かせボランティア11、高校生・大学生の読み聞かせボランティア講座修了者3、子ども文庫2、行政職員、保育士、学校司書、公共図書館司書、保健師など	
内容	①放課後こどもクラブ、豊中子ども文庫連絡会、ボランティアグループえくぼ、ボランティアグループとっとこより活動報告 ②グループごとに自己紹介、討議、ワークシート記入		①保健師、図書館職員、児童発達支援センター保育士、学校司書、行政職員より報告 ②各グループごとに自己紹介、現在の取り組みと今後の取り組みを出し合うワークショップを実施	
討議のテーマ	ワークシートにそれぞれの活動内容や今後の活動の希望、それに対するアドバイスなどを書き込んでいく。		子どもの年齢別、障害のある子どもや外国人の子どもに向けて現在出来ている取り組みや今後実施できたらいいと思う取り組みについて。	
当日のワークシート・アンケートより	講座を受けたので、どこかに参加してみたいと思います。	経験を積みながら、活動されていることを聞いて安心できた	いろいろな方の活動を聞かせていただいて、大変勉強になりました。また次回も参加させていただきたいと思います。	豊中市全体、様々な活動を知る事もいいのだが、同じ活動の方々と話すことで自分のグループに新しいアイデアが生まれてくるのではないかと考えた。
	読み聞かせに答えはないが、絵本を届けたい気持ちが大切。	せっかく講座を受けたので何らかの形でボランティアをしてみたい。	日々の活動に関して困っていること、悩んでいることについて他の方のご意見、考え、実際の活動を聞かせていただき、解決策、改善策が見つかるような場であったらと思います。	最後に配布していただいたグループ・団体一覧はとても参考になりました。インターネットでこのような情報を得ようと検索をかけたのですが、行き当たることができませんでした。
	ボランティアをして絵本の楽しさを知った。	子どもが小さいが一緒に活動できるか⇒（ファシリテーターからのアドバイス）例会には子どもをつれていける。小さい子どもを連れて行ける場所は文庫がよい。まずは参加してみることから。	高校生・大学生ボランティアの修了者の若い方々とお話ができてよかったです。	今回で2回目でしたが、前回より交流の時間が多く、他の方がどのような活動をされているのか、どのような思いを持っていらっしゃるのかということがよくわかりよかったです。様々な課題があるとは思いますが、私のできることから子どもの読書活動をサポートしていきたいと思っています。

平成 23 年度（2011 年度）まとめ

子どもと本をつなぐ地域交流会パート 1 は、岡町図書館での「子どもと本をつなぐボランティア講座」（全 6 回）の最終回にあわせて開催しました。主な参加者は講座の受講者、そして地域で活動中の読み聞かせボランティアグループや豊中子ども文庫連絡会のメンバー、行政職員でした。開催時間が 1 時間弱と短かったため、全員が十分に交流し、地域での活動の課題を話し合うところまではいきませんでした。今後の活動に向けて活発な情報交換が行われていました。

パート 2 は従来通り、広く参加者を募って開催しました。開催に先立って事前に、子ども文庫やあゆみ学園、しいの実学園、高校生・大学生のための絵本の読み聞かせボランティア講座受講者へのアンケートや聞き取り調査を行いました。当日はその結果を写真を交えて報告しました。その後、グループに分かれて年齢ごとにどのような子ども読書関連の取り組みが行われているかを話し合い、今後していきたいこと、そのために必要なことなどを出し合い、発表しました。また今回は市立図書館司書による新しく出版された子どもの本の紹介を行い好評でした。

今年度はいずれも岡町図書館での開催であり、遠くの方は参加できなかったという声もありましたので、来年度は地域を分散させて開催します。また、初めて参加される方とそうでない方が混在する中ではワークショップの進め方に工夫が必要であること、交流会で見えてきた課題を解決するところまで行きにくいという課題が出てきました。これに対しては、運営に関わったワーキンググループ委員から、活動している人たちが抱えている課題を事前に把握する、交流会の話合いのテーマを事前に参加者にも示す等のアイデアが出されました。

多様な活動を知り、学びの機会ともなるので次回も参加したいという声も毎年聞かれますので、今後も地域で子どもや本に関わる人たちの交流の場として開催していきたいと考えています。

3. 領域ごとの取り組み

領域ごとの全体の事業数と新規事業数とともに、その実施事業数の取り組み状況を一覧にしたものです。(詳しくは 24 ページ～65 ページをご覧ください)

3-1 事業の取り組み状況

領域	全体の事業数	平成 23 年度(2011 年度) 実施事業数
1 家庭・地域	20	19
2 地域の公共 施設	34	32
3 保育所(園)・幼稚園	22	21
4 学校	20	20
5 障害のある子どもや外国人の子ども	27	26
6 市立図書館	38	37
計	161	155

*平成 23 年度からの新規・追加事業は 1 事業 (第 2 期実施計画に未掲載のもの)